



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 358
January
2023

トピックス

アジア防災センター 年頭のご挨拶

アジア防災センター
センター長 濱田政則

お知らせ

📌 アジア防災会議2022の
開催について

📌 第3回世界防災フォー
ラム (WBF2023)

関係機関との協力推進

JICA課題別研修：防災主
流化の促進コース

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<https://www.adrc.asia>

© ADRC 2023

アジア防災センター 年頭のご挨拶

アジア防災センター加盟国の政府並びに関係機関の皆様にとって、2023年が希望に満ちた平和で平穏な年になることを願っています。アジア防災センターの活動の発展にご支援とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が2019年12月に世界で初めて確認されて以来、感染症の新しい波が次々に世界中を襲い、2023年1月上旬迄で、感染者約6億6千万人、死者約670万人の史上例のない大災害となっています。ワクチン接種によって感染がある程度制御されつつありますが、未だ終息は見えません。地域によっては対策が十分でなく、多くの人が感染拡大で命を落とし続けています。

新型コロナウイルス感染症に加えて、2022年も、トンガ王国での火山噴火、アフガニスタン、フィリピンおよびパプアニューギニアでの地震、およびパキスタンでの洪水など深刻な災害がアジア太平洋地域で発生しました。地球温暖化に起因していると考えられる巨大暴風雨、大雨、洪水、および干ばつなどの気象災害が増加しています。その傾向はアジア地域において顕著です。これらの災害が感染症災害と複合化することにより、世界がこれまで経験したことのない困難な時代を迎えています。

そのような厳しい世界の社会状況の中、アジア防災会議2022が2023年3月に仙台市で開催されます。会議の主要なテーマは、大災害への対策、災害データの共有と活用の拡大、衛星データによる危機管理、です。

本年は1923年の関東大震災より100年の節目の年になります。関東地震は、犠牲者10万人以上、倒壊建物・家屋70万戸以上の、近代日本にとって最大で最悪の災害を発生させました。アジア防災会議の特別セッションでは、関東大震災が日本および世界に与えた教訓と、地震災害軽減のための知見と技術の発展の歴史を振り返ります。アジア防災会議の成果は加盟国による今後の防災対策計画立案に有益な知見と情報を提供するものと考えています。

アジア防災センターは、本年も31の加盟国との協力と連携により、地震・津波災害、風水害などへの防災の取組みを推進し、世界の人々の平和で平穏な生活を守るため最大限の努力を傾注致します。ご支援をお願い致します。



アジア防災センター 濱田 政則

●お知らせ

アジア防災会議2022の開催について

前号でお知らせの通り、アジア防災センター（ADRC）は今年度のアジア防災会議2022（ACDR2022）を、3年ぶりに対面とオンラインのハイブリッド方式で開催します。ACDRは、毎年、日本を含むADRCメンバー国で開催され、メンバー国や防災関連機関からの関係者とともに、アジア諸国における防災の課題について議論を行う場を提供しています。

本年度のアジア防災会議は、「WHAT IS NEXT? - 過去に学び、未来に備える-」をテーマに、仙台市で開催予定です。

本会議の概要は、以下の通りです。

<日時>

2023年3月10日（金） - 12日（日）

*10日の会合はメンバー国のみ、11日終日及び12日午前が一般公開セッション

<会場>

仙台国際センター

住所：仙台市青葉区青葉山

<http://www.aobayama.jp/>

<https://goo.gl/maps/wLDr6wLoKBHFN18u5>

<プログラム（案）>

2023年3月11日（土）

開会

関東大震災100年記念特別セッション

セッション1：大規模災害とその対策

2023年3月12日（日）

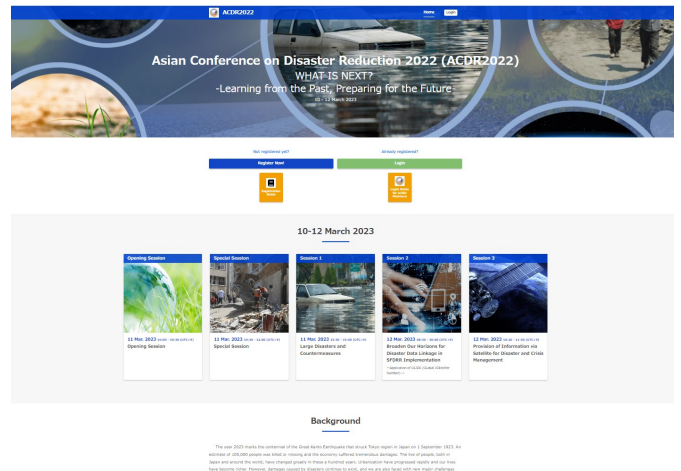
セッション2：仙台防災枠組の取組みにおけるデータ連携の拡大 -GLIDE（Global IdentifierNumber）の利用促進

セッション3：衛星を活用した防災・危機管理情報の提供

閉会

本会議への対面およびオンライン参加ご希望の方は、以下のサイトから登録を行えます。

ACDR2022ウェブサイト：<https://acdr.adrc.asia/meeting/home/acdr2022>



ACDR2022のウェブサイト

本会議に関する詳細につきましては、上記ウェブサイトおよび本紙面において、お知らせしていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

第3回世界防災フォーラム

2023年3月10日（金）から12日（日）にかけて、第3回世界防災フォーラム（WBF2023）が仙台国際センターで開催されます。世界防災フォーラムは、スイスの防災ダボス会議と連携し、国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まる日本初の国際市民フォーラムです。

今回のフォーラムでは、民間セクター及び若年層の積極的な参画、及び、テーマごとに統合的・学際的なアプローチに関する企画度の高いセッションを行い、参加者の増加と交流を促すことを意図しています。

参加登録方法に関して、以下のURLまたはQRコードより事前にお申込みください。ご関心のある皆様のご参加をお待ちしております。



日程：2023年3月10日（金） - 12日（日）

場所：仙台国際センター

WBF2023ウェブサイト：<https://worldbosaiforum.com/2023/>



●関係機関との協力推進

JICA課題別研修：防災主流化の促進コース

ADRCは、JICA課題別研修「防災主流化の促進コース」をJICA関西と協力して、2022年12月12日から24日に実施しました。

本研修には、バングラデシュ、インドネシア、メキシコの3ヶ国から5名の中央・地方政府防災担当幹部職員が参加しました。

本プログラムは、防災主流化の概念、開発政策への防災の統合、政策レベルでの防災主流化の促進手法、日本の様々な知見等について共有し、参加国の防災戦略を検討することを目的としています。

研修員は2週間のプログラムで、各種災害対策に関する講義、視察、討論演習に積極的に参加しました。研修後には、自国の防災対策を改善し、自然災害から人命や経済の損失を削減していくために活躍することが期待されています。

当研修実施にあたり、御講義いただきました各関係機関・大学の皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。